



for YAMAHA XSR900
2016-2020

**ノーマルフロントフォークにダンピングアジャスターを後付け!
高性能カートリッジフォークへ XSR900 をアップグレード!**



TASC for YAMAHA XSR900 (16-20) ¥133,100 (税抜 ¥121,000) TASCXSR9

TASC は部品単品での販売はしておりません。TASC の組み込みには高度な技術を要するため、弊社にて組み込み作業を行います。表示価格には組み込み工賃が含まれております。

TASC 組み込み時に消耗部品の交換料金 ¥8,580 (税抜 ¥7,800)

交換部品：スライドメタル、ガイドメタル、ダストシール、オイルシール (ダストシール、オイルシールは SKF)

ノーマルフォークスペック

- 圧側
ダンピング
アジャスター
非装備
- 片側
カート
リッジ式
- 純正
スプリング
プリロード
アジャスター

TASC フォークスペック

- 伸側
ダンピング
アジャスター
- 圧側
ダンピング
アジャスター
- カート
リッジ式
高性能
積層シム
- TASC
スプリング
プリロード
アジャスター

TASC 内部イメージ
(写真は MT-09)

大幅なシステム変更でさらに快適なライディングを実現

純正は片側のフォークのみにダンパーが装着され、ダンパーボリュームが足りない XSR900。

MT-09 に比べ固めで、ストローク量も多い分コーナー立ち上がりでフロントが持ち上がりすぎ、接地感がなくなります。

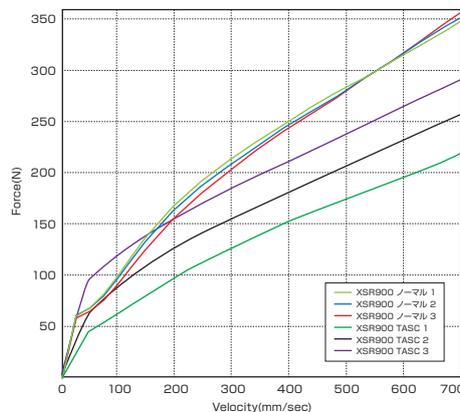
ストローク途中から急激に硬くなる傾向があり、大きなギャップなどを通過すると突き上げを感じます。

そこで、Technix では TASC キットを XSR900 用に新たに開発。片側をコンプレッションダンパー、もう片側をリバウンドダンパーの左右独立調整式システムに大きく変更。ダンピングにワイドな調整幅を持たすことで、ストリートからスポーツ走行までの幅広いシチュエーションで最適な特性を得ることが可能に。

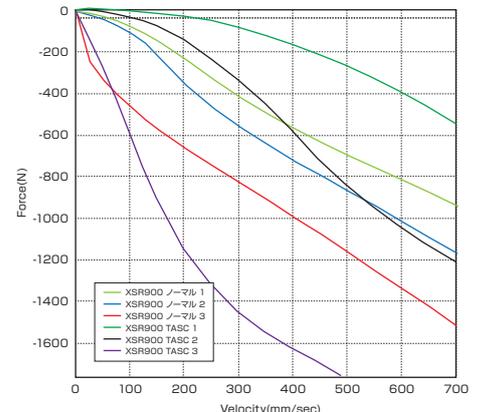


ダイノテストと実走行テストで、様々なライディングフィールドのセッティングデータをチャート化し仕様を決定しています。

XSR900 TASC コンプレッションの比較例



XSR900 TASC リバウンドの比較例



ストリートセット

低速、低荷重でも乗り心地を損なわないようにプリロードを抜き小さなギャップ通過時の突き上げも確実に吸収しライダーへの不快感を大幅に軽減。フロントタイヤが路面に留まるよう伸、圧とも減衰力を若干効かせ気味にセットアップ。

ワインディングセット

積極的にバイクを旋回させるため、ブレーキを当てながらコーナーにアプローチすることを前提にストリートよりもプリロードを掛け、路面への接地感を上げるため減衰力を強めにセット。ストローク中間域でも減衰を掛け安定した車体姿勢でライディングができるようセットアップ。

弊社テストでは、リアショックを「NITRON R3 シリーズ」を装着してテストしております。車体のバランスを取るために同ショック又は同等の社外品への交換を推奨致します。同ショックを装着の場合には、各ステージごとのリアショックセットアップデータの提供も可能です。